

ケモミニ戦記 翔

- 1
- 2
- 3 トラック1：自称後輩、ソリス
- 4
- 5 ：（正面10センチに近づきながら）
- 6 ・（親し気で可愛げのある後輩を演じる）
- 7
- 8 セーンパイ！こんちゃです！えへへ〜お隣、良いですか？
- 9 どうもです〜
- 10 ふう…全く先輩つてば、また一人なんですか？寂しい人ですね〜
- 11 あはは、冗談ですよ〜
- 12 む…わ、私が一人なのはその〜
- 13 …別に何でも良いじゃないですか！
- 14 ま、私が先輩の唯一の友人つてのも結構美味しいポジションで嬉しかったり？
- 15 なんて…
- 16 …？どうかしたんですか？先輩。そんな変な顔しちゃって？
- 17 もしかして、この可愛い後輩ちゃんに慕われて照れちゃってるんですか？

18 先輩、意外に可愛いところありますね♡

19 いい加減慣れて下さいよ、確かに私の方が先輩より色々優秀ですけど…

20 結構尊敬してたりするんですよ？先輩のこと。

21 私達獣人にも分け隔てなく接してくれたりとか。

22 後は…まあ…

23

24 ・（部分はこっそり言う感じで無声音気味）

25

26 そもそも私の方が年下なので！多分

27 むう〜うるさいですね…

28 私と先輩じゃ配属が違いますからなんでもいいじゃないですか！

29 そのせい偶たまにしか会えないですけど…はあ…

30 もっと一緒に居たいのにな〜

31 いや別にさ、寂しいとかじゃないですよ！

32 ええ！全く！

33 寧ろ先輩こそ…寂しいんじゃないですか…？

34 むう…：そうやってすぐ強がるんですから…

35 けど、そんな先輩が私は…

36 やっぱり何でもありませんからね！

37 全く…人の気も知らないで…

38 ほんと鈍感なんですから…

39

40

41 トリック2：ゴ令嬢

42

43 …(正面15センチ)

44

・(ウルーラ 潔と今作の主人公は別人)

45

// (ウルーラに反抗する人間を説得してあげた)

46

47 …どうも、ピリタスの者です。先ほどはありがとうございました。

48

私の力が至らぬばかりに迷惑を掛けてしまいましたね。

49

貴方があのゴ(三)…

50

少々反抗的な方々を説得してくれたお陰で手間が省けました。

51

っし…

52

…(後ろ側20センチから近づいて、右後ろから正面に向かって話す)

53

・(嫉妬して割り込む)

54

55 すいませーん失礼しまーす。

56 有名なピリタスのお嬢様が私達なんかになんの用ですかー？

57 は？…別に貴方の方に用がある訳では…

58 申し訳ないですけど、先輩は返してもらいますからね、

59 私と先輩には大切な用事があるので。

60 ……そうですか、別に構いませんよ。それでは。

61

62 ……(正面15センチ)

63

64 ……ふう、先輩…一体何を話してたんですか？

65 ……別に大した事じゃないですね…よかったです

66 ……というかまたピリタスさんと人間さんは揉めてたんですか…

67 ……まあ、獣人が上司ってのはなんか癢に触るんでしょうね…

68 ……え？あ、大切な用事ってのはその…

69 ……よーし！決めました！

70 ……先輩、今日は私の部屋に来て下さいよ！

71 ……どうせ先輩、一人寂しく過ごしてそうですし、私が相手をしてあげます！

72 何ですか先輩、まさか恥ずかしいんですか？

73 ふふ、初心うぶですね〜先輩ってば。

74 え、違う？

75 じゃあ何が問題なんですか、強がっても無駄ですよ？

76

77 // (主人公 獣人の寮に人間が行くのは気まずい…)

78

79 む…獣人寮は気まずいって…先輩は別に差別とかしないじゃないですか。

80 実は私たちの間では人気だったり…する〜かも？

81 …うわ、急に乗り気になりましたね…

82 ほんと分かりやすい性格してるんですから…

83

84 ・(嫉妬して少しぐらつく)

85

86 …やっぱり他の子と話すのは禁止にします。

87 別に理由はないですけど。

88 これはお願いではなく命令なので。

89 …何でもです！

90 ふん…分かったら行きますよ？

91 全く…

92

93 …(右10センチ)

94 ・(移動中に駄弁っているシーン、

95 実際にはあまり良く思っていない同僚を愛想良く演じる為褒める描写)

96

97 と言うか先輩、別に獣人と仲良くできる割にあんま関わりないですよね。

98 嫌じゃないならもっと話せば良いのに。

99 なんか緊張するって…普通に話せばいいじゃん…

100 …別に釘刺す必要なかったかも…

101 いえいえ、こっちの話なのでお気になさらず

102 まあ…結構色んな子がいますよ、ほんと。

103 ほら、さっきのピリタスの人とか結構有名ですし。

104 きれいな灰色髪でスタイル抜群…

105 何ですか先輩、もしかしてあーいう子がタイプなんですか？

106 …違うなら良いですけど…

107 私は結構会う機会が多くてですね。ちょっと気難しいというか…

- 108 でも仕事は出来る子なんですよ、私も見習わなきゃですよね〜ほんと。
- 109 …あ、いえー何でもありませんよ。私の部隊の子ですか？
- 110 …私の部隊…そうですね〜先輩とは結構違う事をするところなんですけど、
- 111 なんか強い子がいるんですよ、オルファンって呼ばれている子で…
- 112 訳あって私もあまり詳しい事は知らないんですけど…
- 113 でも命令第一で動く凄く真面目な子です。ちょっと引いちゃうくらい…
- 114 私とはほんと真反対って感じで、とても真似できませんよ…
- 115
- 116 ・(から元気な感じ)
- 117
- 118 …で、でも、明るさでは誰にも負けませんよ！
- 119 それが私の1番の取り柄ですから！ふっふっふ
- 120 ……何か言ってくれないと苦しいんですけど…
- 121 全く…ノリが悪いですね〜先輩は…
- 122 あ、此処です。着きましたよ先輩、話してたらすぐでしたね！
- 123
- 124 …(正面に回って)
- 125

126 ほら！他の子の注目を集める前にさっさと私の部屋に行きますよ。セーンパイ！

127

128 トリック3☆…共同作業

129

130 …(正面10センチ)

131 …(二人で雑談中)(適当なこと喋ってるので余り気にしなくて大丈夫です)

132

133 その時にです！砂漠ペンギンが三角飛びで、てえやああ！と襲ってきたので、

134 すかさずアッパーで対空を！って…

135 ちよっとく先輩聞いてます？もう良いとこだったのに…随分と眠そうにして…

136 …あ、もうこんな時間に…あつという間に消灯時間になっちゃいましたね。

137 ふふふ…やっぱり楽しいです。先輩と一緒にいるの。

138 どんなくだらない事でも…こう…違って見えると言うか…

139 なんか、違う私でいられるんですよ。それがとても心地いいんです…

140 …何で先輩が照れてるんですか…ふふふ…

141 …これ以上は私も恥ずかしくなりそうなのでやめておきますね。

142 それじゃあ、一緒に添い寝しましょ♡セーンパイ？

143

- 144 // (主人公 だめ)
- 145
- 146 え〜いいじゃないですか、もう…せつかくいい感じだったのに…
- 147
- 148 ・(ちょっと拗ねた感じ)
- 149
- 150 もう先輩なんて知りませーん。勝手にそこら辺で転がって下さい。
- 151 私はもう寝ちゃいますからね、ふーんだ。
- 152
- 153 ∴(正面20センチから5センチまで近づく)
- 154 ・(深夜にこっそり起きて主人公に近寄る)
- 155
- 156 じぞじぞ…と…
- 157 ふふふ…一応エリートである私を舐めない事ですよ。先輩
- 158 狸寝入りも隠密おんみつもお手のものです。
- 159 それではお隣、失礼しまーす♡
- 160
- 161 ∴(左耳0センチ)

162
163 えへへくやはりこうでなくては。
164 もう、完全に熟睡しちゃってますね…
165 本当に無防備なんですから…
166 今なら…先輩を私の好きにできちゃいます…
167 …いえ、それは先輩に対してそれは失礼ですよ。
168 そー言うことはしっかり好意を伝えて正面から…
169 うう…
170 …先輩、やっぱり私も…マトモじゃないみたいです。
171
172 ・(いきなりキスをする)
173 …(正面のセンチに移動)
174
175 んっ…んん…はあ…はあ…
176 あははくやっちゃった…
177 せうせうにでもなれ…です。
178
179 ・(部分はキスをしながら)

- 180
- 181 んん…ん…先輩…先輩先輩…
- 182 好きです…先輩が誰を選んでも…んっ…
- 183 私は貴方だけを想っていますから…
- 184 あ、先輩…起こしちゃいましたか。
- 185 何してるって…
- 186 ふふふ…逆に何をしていますか？
- 187 …正解はですね、先輩が危険物を隠し持っていないかの確認です。
- 188 えへへ…もう、先輩くすぐったいです、暴れないで堪忍して下さいよ
- 189
- 190 …(右耳0センチ)
- 191
- 192 ほら、ぎゅ…です、先輩。
- 193 ふふふ…健気で可愛い後輩に抱きついて貰えるなんて幸せ者ですね…先輩は。
- 194
- 195 …(少しの不安と好意の確認を含めた調子)
- 196
- 197 …それとも私みたいな獣人に抱き付かれるの不快ですか？先輩。

198 もしそうなら…今すぐそう言って私を突き飛ばして下さいよ。

199 そうすれば私は大人しく一人で泣いてるので。

200

201 ・(受け入れて貰えた安心で元の調子に戻る)

202

203 …えへへ…どうやら堪忍してくれたみたいですね、先輩♡

204 も〜大好きです！沢山ぎゅ〜ってしちゃいますね！

205 …あれ？何か当たって…

206

207 ・(主人公の勃起に気づいて挿^{からか}つ)

208

209 あれ〜先輩♡股間の辺りに何か隠し持っているみたいですね♡

210 やはり危険物を持ち込んでいましたか…

211 も〜、先輩のえっち♡

212 先輩を連れ込んだのは私ですからね、

213 責任を持ってこの危険物は私が処理してあげます♡

214 今更抵抗しても遅いですよ先輩♡一度受け入れちゃったら私は止まりません♡

215 下、脱がしちゃいますよ〜♡

- 216 む…よいしょと…お〜
- 217 ふふふ…出てきちゃいましたね、先輩のおちんちさんが♡
- 218 とつても元気で…これは危険すぎます…
- 219 早急に処理をしなくてはいけませんね♡
- 220 …とは言ったものの…どうすれば良いのでしょうか…
- 221 …そうだ！
- 222 先輩、私が先輩のおちんちさんに手を添えるので、
- 223 私の手を使っておちんちんを気持ち良くしちゃって下さい！
- 224 その動きを覚えて次の機会に活かしますから！
- 225 まずは練習ですよ！ほらもうおちんちんに触っちゃいますよ？
- 226 わわ…結構熱いですね…それに凄く硬い…
- 227 ほら…早くやっちゃって下さいよ。
- 228 私一人じゃわかんないです…
- 229 お〜先輩、やっぱり手…大っきいですね…
- 230 ふふ…たくまし遅おそしいです♡
- 231 あれ、先輩少し強く握りすぎなんじゃないですか？
- 232 こんなもんなんですかね？ちょっとおちんちんさんが心配です。
- 233 ふふ…動かしましたね、しかも中々ハイペース。

234 もう…先輩ったら私の手でこんなにおちんちんイジメちゃって…
235 初めての共同作業ですね♡
236 えへへ、結構テンション上がって来ちゃいました♡
237 わわ…凄い勢いでシロシロしちゃってます。
238 うくん…結構雑というか…適当じゃないですか先輩？
239 もっとこう…テクニク的なのを期待してたんですけど…
240 これなら今の私でもできちゃいますよ。
241 …私の手を使ってる時点でいつて…
242 私そんな下駄を履かされても嬉しくくないですよ…
243 ちゃんと先輩のこと気持ち良くさせてあげたいです…
244 もっと自分のおちんちんを労って下さいよ。
245 仕方ないですね…今回は先輩の好きなようにしていいですけど、
246 次はちゃんと勉強して来ますからね！
247 全く…こんな適当にシロシロして気持ち良さそうにしちゃって…
248 ありゃ、なんか先っぽか液体が出て来てますよ先輩？
249 これが我慢汁…ですか…ちょっと触らせて下さい。
250 ふくん…ちょっとだけ又又メしてます。
251 ふふふ…ちゃんと気持ち良くなれてるんですね♡

252

253 ……(無声音で囁く)

254

255 ……ね、先輩。普段はどんな事想像して慰めてるんですか？

256 え〜内緒なんですか？も〜先輩のいけず♡

257 ちなみに私はですね…先輩とえっちな妄想で夜な夜な自分を慰めてたり…♡

258

259 ……(少しわざとらしく演技をする)

260

261 ……どんな感じか気になりますか？

262 ……ふふふ…そつですね…

263 ……先輩♡先輩♡…はあ…はあ…気持ちいいです…

264 ……先輩とのラブラブえっちな最高すぎます…♡

265 ……あっ…あっ…♡気持ちいい…先輩♡

266 ……んっ…あっ…激しっ…♡

267 ……も〜先輩のイシワフル♡でも大好きです♡

268

269 ……(演技終わり)

270

271 みたいな感じですよ♡

272 あれ〜先輩？おちんちんさんが爆発しそうになってないですか？

273 ふふふ…私のえっちの妄想で興奮しちゃっただなんて…

274 私と本番えっちする時、すぐにイっちゃうんじゃないですか♡

275 あ〜あ…あのかっこいい先輩がまさか早漏さんだったなんて…

276

277 …(左耳のセンチ)

278

279 めっちゃ興奮します♡

280 いいんですよ、先輩。

281 そのまま私の手を道具みたいに使ってお射精しちゃっても♡

282 早漏のおちんちんさんに無理させちゃダメですからね♡

283 わわっ…もっと手の動きが早くなった♡

284 お〜おちんちんさん、すご〜い硬くなっています。しかもど〜んと脈打って…

285 もう我慢の限界って感じですね♡

286 はい、いいですよ〜せーのっ出しちゃっし。

287 …えっ…ティッシュ？

288 あゝ、精液が飛び散らないように受け皿みたいなのが必要なんですね。
289 なるほどです。
290 えっと…どこに置いてたっけな…
291 うん…って、先輩?! もう出ちゃうって、
292 ダメですよ! まだ我慢しなきゃ…
293
294 // (射精)
295
296 わわっ…先輩の精子さんがぴゅっぴゅっぴゅと飛んで行きました…凄い…
297 あゝ私のお布団が精液まみれに…
298 バカなんじゃないですか先輩?
299
300 トリック4：日食
301
302 :(正面5センチ)
303 ・(一緒に添い寝できてちょっとウキウキしてる)
304
305 わーい添い寝だ添い寝だ! えへへ

306 うふふ…先輩が悪いんですからね〜？

307 それとも自分の精液をぶっつけた布団で寝たいんですか？

308 …まあ、私もあんなに勢いよく出るとは思っていませんでしたから…

309 っはっはお互い様ということぞ♡

310 …お布団は明日こっそり洗濯しておきます。

311 うっかり先輩の匂いを他の子に嗅がれたら嫌ですからね！

312 うふふ…先輩の匂いを知ってるのは私だけがいいです♡

313 ちなみに、ちょっとだけ嗅いだんですけど…

314

315 …(左耳0センチ)

316

317 めっちゃヤバかったです♡

318 え、味？誰が口に入れるんですかあんなの？

319 どう考えても食べ物じゃないですよあれ。

320 先輩も変なこと言いますね〜♡

321 あ〜そつだ先輩、帰って来て早々なんですけど…

322 実はまた任務が入っちゃって…

323 はい、1ヶ月くらいしたらまた暫くお別れです…

324 それですね、先輩…その任務、私凄く嫌なんです…
325 内容は言えませんが…凄く…嫌です…
326 なので、沢山ぎゅーして私を元気づけて下さい。
327 ほら、早くです。
328 わ…最高ですよ、先輩。
329 はあ…ずっとこうしていたいな…
330
331 ・(少し発作の症状が出ます)
332
333 先輩の前なら…私は絶対…マトモでいられますから…
334 いえ…なんでもないです…私の…大切な嘘…
335 それより大切な先輩…大丈夫です。絶対…私はいい子ですから。
336 先輩…?わかんないです…
337 うう…ヤダ…独りにしないで…
338 …先輩、怖い…あはは…
339 月が…怖い…
340 …もう何処にも行かせませんよ…
341 えへへ…先輩…先輩先輩

342 …なんで私を不安にさせるんですか？

343 先輩が悪いんですよ…私を不安にさせるから…

344 どうして先輩が不安そうな顔するんですか…

345 先輩が…あ…

346

347 ・(発作が落ち着き自分が嫌になる)

348

349 ああ…ごめんなさい…ごめんなさいです…先輩…

350 私…偶たまに頭がおかしくなつて…

351 先輩の前だけでは嫌だったのに…

352 うう…もう嫌です…どうすれば…

353 …先輩…助けて…

354

355 // (主人公 もう辞めた方がいいよ…)

356

357 …それだけは無理です…私はこの部隊…特殊作戦部隊を辞めれない…

358 誰かがやらなきゃ行けないことなんです…

359 それに…今更引き返せない…

360 …本当に助けてくれるんですか…？

361 わかりました…私、先輩を信じます…

362 でも…次回の任務だけは…頑張らなきゃ…

363 …どうか先輩の胸元で…今日を終わらせて下さい…

364 もう…何処にも行かないで…

365

366 トリック5☆…月蝕

367

368 …(正面10センチ)

369 …(メンタルは回復して元の明るい状態)

370

371 先輩、ここだけの話たこ焼きにたこは使われてないらしいですよ！

372 食べた事ないのでよく分かりませんが。

373 変な茶色いボールがたこ焼きって呼ばれてるみたいですし、

374 闇のペンギン達から聞いたので間違い無いですよ！

375 ああ、そうだそうです…それと大分精神面は安定して来ましたよ…！

376 ここ数週間先輩が付きつきりていてくれたおかげです！

377 もー先輩パワーを沢山もらえましたからね！

378 はい…お陰で今回の任務は大丈夫そうです…

379 もし私の退役が本当に認められて、一般人に戻れたら…

380 私は晴れて無職です、しかも天涯孤独の身の。

381 …その時は期待してますよ？先輩…？♡

382 ふふふ…なんの事でしょうね〜鈍感な先輩にはわかりませんか？ふふふ…

383 それではね、先輩…また、暫く会えなくなっちゃいますから、

384

385 …(右耳0センチ)

386

387 えっちな事、しましょ♡

388 ふふふ…先輩もその気だったくせに♡

389 あ、でもえっちな事はしますけど、えっちはしませんよ？

390 それは…ちゃんとそーい関係になってからです！

391 でもえっちな事はしちゃう大人の関係という事で…♡

392

393 …(正面5センチ)

394

395 ほら、脱がしちゃいますよ♡♡

- 396 ほれほれく
- 397 ふふふ…ピーンと上を向いて…
- 398 相変わらず元気なおちんちゃんです♡
- 399 あ、そう言えば…
- 400 ねえ、先輩私…ちょっとお勉強をして来たんですけどね…
- 401 先輩のオナニー最悪じゃないですか！
- 402 少しおかしいなとは思ってましたけどね…
- 403 あんな乱暴にしていると、おちんちゃんがバカになって…
- 404 私とえっちしても気落ち良くなれなくなっちゃいますよ？
- 405 そんなの嫌ですよね？でも大丈夫です先輩。
- 406 ふっふっふ〜この私にお任せ下さい！
- 407 正しいおちんちゃんさんお世話の仕方をマスターして来ましたので！
- 408 いいですか？私がない時にどーしても我慢出来ない時は
- 409 これから私がする方法でやるんですよ？
- 410 では最初に…おちんちゃんさんを興奮させる際にはオカズが必要だと思えますが…
- 411 何故か先輩は既にギンギンですね…
- 412 まあ、いつか。そのオカズは刺激が強すぎない物が良いらしく、
- 413 パートナーの想像なら尚良いみたいです。

- 414 ふっふっふっ先輩は幸せ者ですねっ
- 415 ほら…先輩、見えますか？♡
- 416 今、私はダボダボなシャツ、しかも下着を付けていませんので…
- 417 シャツの隙間から見えちゃいますね♡
- 418 ふふふ…確かに私は貧相な体つきかもしれませんが、私には私の闘い方があるんです！
- 419 えへへっ先輩にはちよっと刺激が強すぎましたか？♡
- 420 でも、先輩には絶対貧乳を好きになってもらいますから、覚悟して下さいね♡
- 421 ふふふ…それでは早速おちんちんさんをシコシコしていくのですが…
- 422 先輩は強く握りすぎです！
- 423 みかんを握る位の力加減らしいですよ。
- 424 はい、ぶっちゃけよく分かりませんね！
- 425 ですので先輩、私の耳触って下さい！
- 426 ほら…びよこびよこさせて先輩を待ってますよっ
- 427 私は狐の獣人ですからね、結構おつきいです。
- 428 えへへ…くすぐりたい…
- 429 先輩、やっぱり獣人特有の部位に触れる時はとても慎重になりますね。
- 430 その力加減で自分のおちんちんを握れば大丈夫だと思いますよ！
- 431 ほら、言われてみればなんか尻尾みたいじゃないですか！

432 …まあ、冗談はこの辺にしておいて…

433 優しくおちんちんさんをシロシロしますので…

434 先輩は私の耳で遊んだり胸を覗いて下さい。

435 それでは始めますよ

436 はい…しゅこ…しゅこ…しゅこ…

437 ふふふ…ちよっともどかしいですか？先輩。

438 でも、これくらいゆっくりするのが良いんですよ。

439 実際のえっち位のスピードでシロシロするのが良いらしくてですね。

440 私、先輩とお互いに溶け合っちゃう濃厚交尾…みたいなえっちがしたいので、

441 先輩の早漏おちんちんさんを鍛えてあげなきゃ行けないんです。

442 なのでこのペースでゆっくり気持ち良くなって、私の合図でお射精するんですよ？

443 先輩が辛くならないように私も頑張りますから、一緒に頑張りますよ！

444 ふふ…その意気です！

445 …うん、一緒に頑張ると言っても、他に何をすればいいかわかんないですね…

446 私と砂漠ペンギンの激闘の続きでも聞きます？

447 遠慮しとく？そうですか…

448 じゃあファイヤーペンギンの…そういう話は興味ないですか…残念…

449 あ、おちんちんさんも心なしか小さくなってしまいました…

- 450 先輩は何かして欲しい事ないですか？なんだって良いですよ？
- 451 ふむ…私のスリーサイズが知りたいと…
- 452 良いですけど、多分聞いてもそんなに楽しくないですよ？
- 453 えっと…上から76、53、77だったはずです…
- 454 別に気にしている訳じゃないですけど、普通に貧相じゃないですか…私。
- 455 そういのはスタイルの良い子に聞くから楽しいものじゃないんですか？
- 456 ふふん…男心ってのはよく分からないですね。
- 457 それとも先輩が変わっているのでしょうか？うふふ…
- 458 おちんちんさん、また元気になって来ました…しかも我慢汁も沢山出ちゃってます…
- 459 でも、お射精はまだダメですからね？我慢です。
- 460 もどかしくて辛いですか？もう仕方ないですね…
- 461 もう少し練習をしてからやってあげるつもりでしたけど…
- 462 特別ですよ？先輩。
- 463
- 464 ・(下手なフェラ)
- 465 ・(部分はフェラ中のセリフ「がぶ」は齧かじっています。)
- 466
- 467 あむっ…む…あむっ…んん…がぶ…あ…

468 すいません先輩、ちょっと歯が当たっちゃいました。

469 あはは…痛かったかな？

470 …めっちゃ痛そうですね…

471 うくん、結構練習したんですけどね…お口でご奉仕するのも。

472 はい、野菜とかソーセージで…自慢じゃないですけど

473 練習が終わる頃には毎回ボロボロになってました！

474 先輩のおちんちは壊さないように頑張りますね！

475 あーむ…あむ…む…あむあむ…ん…ん…ん…ん…じゅる……

476 じゅ…むむ…がぶ…はむ…ん…

477 ん…？ぷはっ…

478 どうしたんですか先輩？

479 もぅいい…？ふふ…遠慮しなくて大丈夫ですよ♡

480 もっとしてあげちゃいます…

481 あむ…む…がぶがぶ…ん…ん…

482 む…あむ…ん…ん…

483 あむあむ…む…がぶ…がぶがぶ…ん…？

484 ぷはっ…本当にも良いって…

485 ふふふ…そんな泣きそうなくらい感じちゃったんですね♡

486 練習してきた甲斐がありました！

487 結構我慢出来てますし…大丈夫そうですね、

488 手の動きを少しだけ速めますので、

489 私の合図でお射精しちゃって下さい！

490 それではカウントダウン…始めますよ

491 じゅーう…きゅーう…なーな…

492 うーん…焦りたいですね…

493 やっぱひもっ出して下さい！

494 3、2、1、0です！0、0！

495

496 // (射精)

497

498 アハっ…おちんちんさん焦ってて可愛いです♡

499 じゅ…じゅ…と出て来ちゃってますね♡

500 全部私の手で受け止めるので大丈夫ですよ、沢山せーっ出して下さい！

501 ふふふ…落ち着きましたね…

502 すっじゅ濃いです…先輩の精液♡

503 すんすん…相変わらず凄くえっちな匂いですね…

- 504 …うろついて手に纏わりついている精液をみてると…
- 505 ちょっと舐めてみたい気が…
- 506 うろ…ちょっとだけです…ちょっとだけ…
- 507 へろっ…うーん…普通に美味しくない…良いところ5点って感じですよ。
- 508 ふふっ…いやー楽しいですね…こうやって二人だけの世界に引き籠もるのは…
- 509 私はここに永住する事にします。ふふーん。
- 510 …その為に…もう一度だけこの世界から出なきゃですけど…
- 511 次の任務が最後ということを感じて…頑張ってください。
- 512 先輩が助けてくれるんですから…きっと絶対ですよ…
- 513 はい…また会いましょう、先輩…!
- 514
- 515 トリック6 ☆：月夜に狂って
- 516
- 517 …(正面10センチ)
- 518 ・(発作が悪化している、全体的に不気味にハッキリした調子)
- 519 // (前回のシーンから数ヶ月経過し、
- 520 任務から帰ってきて主人公を部屋に呼び出した)
- 521

522 ああ…どうぞ、入って下さい。

523 ふふ…久しぶりですね。

524 わざわざ呼び出してすいません…

525 どうしても二人きりになりたかったもので。

526 ああ…任務ですか、まあ…別に問題なく終わりましたよ。

527 そもそもオルファンがいる限り失敗する訳ないですね。

528 …でも、うーん…ま、それとこれは別って話です。

529 …今宵は…月が綺麗うつくですね。先輩。

530 この優しい光が、私は大嫌い。

531

532 ・(次の質問のセリフだけ元の調子で真剣に聞く)

533

534 先輩、私が今、マトモだと思いますか？

535 ふふ…流石です先輩。私の事をよく理解してくれています。

536 そうです、壊れちゃいました！

537

538 // (主人公を押し倒す)

539 :: (左耳5センチ)

540
541 いや〜残念です、今夜が最後だと分かっているんですよ。
542 私が今私でいられるのは。これも私なんですけどね。
543 なんか、もうめんどくさいな…
544 とりあえず、今から私は先輩をレイプします。
545 色々やりたい事があった気がするけど…
546 先輩の体が欲しいという事以外、今は頭にはないです…
547 沢山抵抗してくれて良いですよ！
548 絶対に私の方が強いので！あはは…
549 …抵抗しないんだ。まあいいや。
550 服が邪魔…さっさと脱がして私も裸になっちゃお。
551 …良いですね、凄くそそりますよ…
552 もう入れちゃいましょうか。
553 ん…んん…はあ…はあ…
554 流石に痛いです…まあ初めてだし仕方ないか…
555 ふふふ…先輩が私の体に痛みを刻み込んでいるんですよ…
556 壊れた心には釣り合わないこの体…
557 先輩が壊して下さる…

558 壊して…殺して…

559 ふふふ…ああ…ほんと誰のせいなんでしょうね。

560 私自身？あのクソ犬？それとも…

561

562 ・(発作終わり、自己嫌悪と後悔でいっぱいの様子)

563

564 …先輩…？

565 あ…う、うう…なんで…

566 こうなっちゃったんだろう…

567 先輩…ごめんなさい…

568 違うんです…こんなのやだ…

569

570 // (主人公が抱きしめる)

571 ∴ (右耳5センチ)

572

573 せ、先輩…まだ…こんな私を抱きしめてくれるんですか…？

574 うう…先輩、先輩先輩…

575 はい…もう…落ち着きました…

576 …先輩との初めては…もっと大切にしたかったな…

577 正直めちゃくちゃ痛いですが、いきなり入れちゃいましたから…

578 先輩も嫌でしたよね…

579 でも…先輩と繋がれて嬉しいと思ってしまうている私がここに居るんです…

580 嫌だなあ…悔しいなあ…

581 そもそも私は臆病なんですよ…

582 怖くて先輩に私の事が好きかどうかも聞けないくらい。

583 健気な後輩の皮を被って一方的に好意をぶつける事が精一杯なんです…

584 返事が怖かった…

585 だって…もし先輩が好きって言うってくれなかったら私…

586 居場所がなくなっちゃう…

587

588 // (主人公 好きだよ、口に出せなくてごめんね)

589 …(一気に気持ちが晴れる)

590

591 え…今、先輩…私の事好きって…

592 せ、もう一回…もう一回言っただせう…！

593 しっし…言えるならもっと早く言っただせうよね…

- 594 その言葉があれば私は大丈夫だったのに…
- 595 もう、こんな鈍子先輩なんか…
- 596 だいたい大好きです…
- 597 好き…もう離しませんからね…
- 598 先輩…やっぱり私もう全然痛くないですから…
- 599 好きと言って貰えて興奮が抑えられません…
- 600 早く私を気持ち良くして下さい♡
- 601 先輩もそろそろもどかしく無いですか…?♡
- 602 はい…できればゆっくりでお願いします…
- 603
- 604 //((抽送ゆっくり))
- 605 ・(控えめに可愛く喘ぎながら)
- 606
- 607 ふふふ…下手っぴです…♡やっぱり先輩も童貞さんだったんですね♡
- 608 もう最高です…私色に染めちゃいますからね♡
- 609 うん、そうですね…やっぱり抱き締められるのが一番安心するので、
- 610 せつとぎゅっつてして下さる…!
- 611 先輩…私も抱きついちゃいますから。

- 612 えへへ…尻尾も絡めちゃいます…
- 613 間に挟まるものがないので凄い密着しちゃってますよ♡
- 614 やっぱり巨乳なんて邪魔なだけです！
- 615 おっぱいは量より質、覚えて下さいね♡
- 616 えへへ…また一つ先輩が私の色に染まっちゃいました♡
- 617 ん…んん…気持ちっ…です…
- 618 はあ…はあ…声が漏れちゃいますね…
- 619 先輩に聞かれちゃうの恥ずかしい…
- 620 だって先輩が私の事を気持ち良く出来てるってバレたら悔しいじゃないですか♡
- 621 チョ口いって思われちゃ嫌だったのになあ♡
- 622 もうバレバレですね、先輩♡
- 623
- 624 // (抽送早く)
- 625
- 626 わわっ…動き、早くなっちゃってますよ♡
- 627 まあ…私も腰が動いちゃってますけど…
- 628 こんな我慢できませんよね♡
- 629

630 // (ケモミミを撫でられる)

631

632 んっ…もう先輩ったら…そんなに耳をもふもふされたらくすくす擦すったいですよ♡

633

634 ・(左耳に息を吹きかける)

635 ∴(左耳0センチ)

636

637 仕返しです♡ふふ…

638 先輩もお耳が弱いんですね♡

639 このまま沢山舐めちゃいます♡

640

641 【左耳舐め30秒 休憩を挟みながらイタズラっぽく息を吹きかける】

642 ・(吐息多めでほてった様子)

643

644 はぁ…えへへ…結構楽しいですねこれ…

645

646 ∴(右耳0センチに移動しながら)

647

648 このまま反対側のお耳も…

649 沢山舐めちゃいますよ〜

650

651 【右耳舐め30秒 休憩を挟みながらイタズラっぽく息を吹きかける】

652

653 ふふっ…先輩だったら…お顔がとろけちゃってます♡

654 おちんちんさんも私の中でビクビクって…脈打って…

655 私の中で沢山びゅーびゅーしちゃおうとしてますね♡

656 いいですよ、そのまま頭真っ白になってお射精しても♡

657 気持ち良くなることだけ考えれば良いんです。

658 ほら…私も腰沢山動かしちゃいます♡

659 ちなみに…見ての通り今、私は発情期です♡

660 意味…分かりますよね？♡

661 そうです、中にびゅーっとしちゃったら最後

662 先輩はもう私と結婚して責任を取らなきゃです♡

663 まあ…嫌ならおちんちんを抜いて一人でシ〇シ〇して

664 無駄撃ちお射精でもするしかないですね。

665 ほら、先輩。おちんちん抜かなくて良いんですかー？♡

666 もうごくん…ごくん…ってお射精の準備を始めちゃってますけど♡

667

668 ・(ぢゅっつわぢゅっつりっく^{かひち}挿)

669

670 早くおちんちんさんを外に出してあげないとパパになっちゃいますよ♡

671 ふふ…頭では分かっても無理なんですね先輩♡

672 仕方ないですね〜今回だけは特別に私がおちんちんさんを抜いてあげます…

673 …先輩？そんなにぎゅってされたらおちんちん抜けないですよ？

674 あ…先輩、私を孕ませるつもりなんだ♡

675 先輩は私の想像よりずっと変態さんだったんですね♡もう最高です♡

676 わわ…おちんちんさん、もう限界って感じみたいです♡

677 もう…仕方ないですね…ほら、出して良いですよ♡

678 だーせ♡だーせ♡

679 私の中に先輩の精液を沢山出し下さい♡

680

681 // (射精)

682

683 わ…凄いです、先輩…

684 たーくさん精液がピュドピュって出しちゃってる…♡

685 私の体ももっと出せ♡もっと出せ♡っておちんちに絡みついでちゃってますね♡

686 えへへ…とっても気持ちよかったですよ、セーンパイ♡

687

688 トリックフ…傷跡

689

690 ・(落ち着いた様子)

691 …(右5センチ)

692

693 はあ…はあ…流石にもう出ないですか？先輩。

694 ふふ…今更青ざめて、やっちゃまった！て顔してますね…

695 本当に頭がおちんちに支配されてるんじゃないですか？ふふふ…

696 実はですね先輩…発情期ってのは嘘です。

697 私が発情期だったらこんな物じゃ済みませんよ♡

698 その時は覚悟して下さいね、先輩♡

699 …後ですね、先輩。一応言うとして別に私は先輩を独占したいなんて思ってないです。

700 私はもう汚れ過ぎましたから…もうその資格はないですよ…

701 …ですから…他にいい子を探して下さいよ…

702 私は先輩が幸せなら何だって…

703

704 ・(結構ヒートアップして嬉々として愚痴る)

705

706 あ…でも例外はいますよ！

707 例えばビリタスの奴とかは私絶対に認めませんから！

708 前は先輩の前だったので適当に流してやりましたけど、

709 種族コンプ拗らせてぐちぐち文句言ってくる性悪女じちいひんせつなですから！

710 そもそも私より若い癖に生意気なんですよ胸もデカいし、良いところの生まれだからって

711 結構お偉い立場にいますけど、あんな性格になったら終わりですよ、趣味も変だし。

712 正直ちょっと見下してます。へっ！

713

714 ・(オルファンの話はちょっと重いです)

715

716 後ですね、オルファンも絶対ダメです。

717 そもそも私がこうなったのは彼女のせいで…それはただの言い訳ですね…

718 …戦場に立てば命の取り合いをするのは当たり前です。

719 それ位の覚悟は私にだってありましたよ…

- 720 　いつの間にか私の仕事は…ゴミ掃除になっていました。
- 721 　軍部にとって都合の悪い内側にあるゴミのお掃除です。
- 722 　これは絶対にやっちゃいけない事でした…
- 723 　やっってしまったえば軍部の暴走が始まります…
- 724 　…ですがオルファンは二つ返事で掃除を始めました。
- 725 　もう引き返せませんよ…
- 726 　地獄行きの導火線に彼女は火をつけたんです。
- 727 　自覚も無いでしょうけど…私達を道連れに…
- 728 　…少し前に同僚を殺しました。
- 729 　今の私みたいに頭がおかしくなっちゃったんですよ。
- 730 　あの子が告発の準備をしている事に気付いちゃいました。
- 731 　裏切り者としてこの子が死ぬより酷い目に遭わされる位ならと…
- 732 　私が彼女の分も罪を背負うと決めたんです。だから殺しました。
- 733 　もうその時から誰とも話せなくなっちゃいましたよ…先輩以外…
- 734 　気がついたら私の同僚はオルファンだけです。
- 735 　あの子には責任感…自分が無いんですよ。
- 736 　都合の悪い事は直ぐに頭から消して、
- 737 　自分の行動の責任を命令に…言葉に持たせているつもりになってるんです。

738 言葉が責任なんて背負う訳ないのに、ほんと馬鹿ですよ。

739 自分の罪と向き合えない、そんな歪んだ彼女が嫌いです。

740 …それとも罪の重さに耐えられずに壊れちゃった私の方が馬鹿なのかな…

741 …そう言えば先輩は私を辞めさせてくれるって言っていましたね…

742 でも分かったでしょう？私は辞められないし、

743 今の話は絶対に口外禁止です。

744

745 // (ヒロインの精神病は深刻な物だと証明する案です)

746

747 え、録音してたんですか？発作中の私を…

748 正直聞きたく無いんですけど…

749 え、病気でもう使い物にならないって…

750 私そんなに重症ですかね？

751 正直その時の記憶は曖昧というか…後から一気に来るんですよ…

752 うーん…流石にちゃんとした検査を受けた方がいいかもです…

753 はあ…でも少しスッキリしました…

754 結構不満を溜めちゃうタイプだったので、先輩に聞いて貰えて…

755 肩の荷が降りたと言いますか、ちょっと安心しちゃいました…

756

757 ・(眠そうに)

758

759 ふあゝ

760 すいません先輩ちよつと…先に…寝ちやうかも…です…

761 もっと先輩とお話したいのにな…

762 砂漠ペンギンの事とか…後…あ…と…

763 大好きって…ちゃんと…言いたい…です…

764

765 トリック8…約束

766

767 …(正面15センチ)

768 ・(喜びを抑えきれない様子)

769 // (前述の案でヒロインは無職になりました。)

770

771 うゝ…やりましたよ先輩!

772 本当に辞められちゃうなんて!

773 …まあ逆に私の病気も証明されちゃいましたけど…

774 暫く入院らしいです。とほほ

775 ねえ…先輩、退院した後…私は国を出ようと思うんです。

776 □封じも兼ねているんでしょうけど、

777 退職金もたくさん出たので生活には困らないですし。

778 何でか分からないんですけど、海が見たいんですよ〜私

779 海ペンギンがいるからかな？ま、いいや。

780

781 ・(プロポーズをするシーン、緊張した様子)

782

783 そ、それですね先輩。

784 やっぱり一人で生きていくのは寂しいと言いますか？

785 どうせ好きに生きるなら隣に好きな人がいて欲しいな〜みたいな…

786 …なんでこれで伝わらないんですか…流石の私でも怒りますよ？

787 …私と一緒に来て下さい…先輩が居ないとどこに居ても寂しいです…

788

789 // (断られる)

790

791 え…えっ？な、これで私振られちゃうんですか!？

792 だって、先輩と私は相思相愛ですよね！

793 と言うか私で童貞捨てたくせに…

794 やっぱり…汚職に手を染めた私に…先輩の隣にいる資格は無いのかな…

795 違うんですか…？じゃあ何で…

796 やらなきゃいけない事があるって…

797 それは何を…

798

799 ・(少し怒り気味に真面目な口調)

800

801 …軍部の暴走を止めたい…って…先輩、本気ですか？

802 …本気ならオルファンを殺して下さい。

803 あれを失えば他の勢力を抑えられなくなって大人しくなるはずですよ。

804 …説得が通用するタイプじゃないと言うか…

805 あまり彼女を人って考えない方がいいですよ。

806 彼女はただ言うことを聞くだけの機械、壊すのが一番手っ取り早いと言う事です。

807 …それで先輩、どうするつもりなんですか？

808 私、今ちよっと怒ってますよ？

809 先輩が特殊作戦部隊に入って、証拠を集めて告発した後亡命する…ですか

810 …この事が知れ渡れば軍部の立場は危うくなりますからね。
811 でも先輩はあそこに入隊するにはちょっと能力が足りない気が…
812 そう言えば今はオルファンしか居ないのか…
813 人員不足というか組織として成り立ってないし誰でも志願すれば入れるかも…
814 分かりましたよ…先輩の意思は尊重します。
815 でも絶対に私を迎えに来るって約束して下さい。
816 …ならよし、です。

817
818 トリック9☆…発情期

819
820 …(正面10センチ)

821 …(嬉しそうに)

822 // (入院中のヒロインを迎えに主人公が来た)

823

824 あ、先輩！入ってもらって大丈夫ですよ！

825 いやー先輩に迎えに来てもらえないと外出すら出来ないなんて

826 不便で参っちゃいますね！

827 えへへ…本当にそう思ってますよ？えーもう凄く！

828 ちょっと待ってくださいね、直ぐお出掛けの準備をするので！

829 …流石に避妊をしないのはヤバい気がしますね。

830 先輩、ちょっと耳貸して下さい。

831

832 …(右耳0センチ)

833

834 先輩、私今発情期が来ちゃってるんです♡

835 なので今日は絶対に先輩とえっちしたいんですけど…

836 流石に妊娠しちゃうとあれなのでゴム、買ってきて下さい♡

837

838 …(右5センチ)

839

840 じゃあ、先輩が戻ってくる前に準備を済ましておくので、お願いします♡

841

842 …(左10センチ)

843 …(発情して馬鹿になってる)

844

845 えへへ…ヤバイです…先輩のお部屋まで我慢できない…かも…

846 うう…だつて気まずくて一人でする訳にもいなくて、

847 ずーと我慢してたんですよ…？

848 あ、先輩！もうあっちの草むらで良くないですか？いいですよね！

849 決まりです。ほら早く早く！

850

851 …(正面10センチから5センチに移動しながら)

852

853 大丈夫ですって、こんなところに誰も来ませんよ。

854 私もう全部脱いじゃいますからね♡

855 ん…よい…じょつと…

856 私は別に外でも気にしないと言つか…寧ろ本能が刺激されて燃えますね！

857 ほら…早く後ろから入れちゃって下さい♡

858 …何モタモタしてるんですか先輩、もしかしてバックのやり方も分からないんですか？

859 むう…いつもなら可愛いで済みますけど、今はそんな余裕ないです！

860 後ろからがって掴んで挿れちゃえばいいんですよ！

861 ほら…早くして下さい…凄く切ないです…

862

863 …(ビクビクしたり発情して熱って吐息を漏らしながら)

864
865 え…！？ど、どこ掴んでるんですか先輩！
866 尻尾はダメですって…！
867 あ…おちんちんの先っぽがあたっちゃってる…
868 ま、待って下さい先輩、尻尾じゃ無くて腰とかお尻を掴むですよ！
869 って、聞いてないし…もう…それならそれで焦らさないで早く…
870 …ほらそのまま腰を前に突き出すんです！
871 きゃっ…♡ん…ん…はあ…はあ…♡
872 いろいろですよ先輩、上手に挿れられましたね…♡
873 そのままゆっくり腰を引いて…
874 はい…おちんちんが抜けないギリギリまでです…
875 そしたら勢いよく突いて下さい…！
876 わっ…♡上手です…そのままそれを繰り返せば…
877 大丈夫ですよ…♡
878 はあ…はあ…凄い気持ちいいですけど…
879 何か忘れてるような…？
880 まあ、良いですよね…先輩も夢中になってくれてるみたいです…
881 というか先輩、いい加減尻尾離して下さいよ…

882 何でって…んっ…そこは敏感なんです！

883 特に付け根ら辺は絶対触っちゃダメですからね…？

884 …あくあ…言ってる側から触りましたね先輩。

885 もう知りませんからね…

886 ふふ…ほらおちんちん抜いてみて下さいよ…

887 抜ける物なら…

888 先輩のおちんちんさんが潰れちゃいそうな程締め付けちゃってます…♡

889 ほら、サボってないで早く腰振って下さいよ♡

890 頑張ればちよつとずつ抜けるはずなので…

891 少し抜くだけで…先輩のおちんちんを逃さない…！って

892 中で纏わりついちゃって大変ですね♡

893 はぁ…はぁ…ん…ん…！

894 ふう…やつと先っぽ以外脱出できましたね…♡

895 ほら…早く中に帰ってきて下さいよ♡

896 …んっ…ああ…やばいです先輩…♡

897 あんなに頑張って抜いたのに…中には簡単にヌルヌルって入っちゃいました…

898 またぎゅうぎゅうって締め付られて…先輩。そろそろヤバそうですね…

899 でももうちよつと我慢して下さい♡

900 さき、早くおちんちん動かして下さい♡
901 ん…めっちゃいいですよ…はぁ…はぁ…
902 先輩、次は入れる時もゆくりお願いします♡
903 そうです…やばいです先輩♡私の中に入ってくる感覚が…
904 んん…はぁ…はぁ…お帰りなさいです…えへ…
905 おちんちんさん、もう限界って感じみたいですね…
906 次のピストンで出しちゃっても良いんですよ♡
907 我慢は良くないですからねえ♡
908 ほら…もう一回です！ちよっとずつおちんちん抜いて…
909 がんばれ♡がんばれ♡
910 はぁ…はぁ…もうちよっとですよ…♡ん…んん…
911 はぁ…はぁ…また脱出できましたね♡
912 じゃあ…用意は大丈夫ですか…セーンプイ♡
913 ゴムも買ったので心配する必要はないですからね！
914 思いつきり突いて…びゅーびゅーっとお射精しちゃって下さい…
915 ほら…行きますよ♡せーの…！

916
917 // (射精)

- 918
- 919 んん！…ん…たくさん出てますね先輩…！
- 920 すっ…♡はあ…はあ…
- 921 もぅ…出しすぎですよ♡
- 922 にしても、このゴム凄いですね…まるで生えっちしてるみたいです♡
- 923 あれ…先輩、何おちんちさんを抜こうとしてるんですか？♡
- 924 一回で終われる訳…ないですよね？♡
- 925 ふふふ…次は私が先輩を犯しちゃう番です♡
- 926 あ…でも確かにゴムは変えないとですね…
- 927 一回おちんちん抜きましょうか…
- 928 んっ…よいしょっ…と…はあ…
- 929 って…あれ？先輩、ゴムつけて無くないですか？
- 930 …あ、精液が垂れてきました…うーん…
- 931 ゴムって今から着けても効果あるんですかね？
- 932

933 エピローグ…ケモミミ戦記 天

934

935

…(正面15センチ)

936

・(少し寂しげに)

937

938 先輩…大丈夫ですか？

939 あ…えっと…私はソリスって言います…

940 …記憶処理は正常に行われたみたいですね…

941 はい、新人は情報漏洩のリスク回避の為に任務の際には

942 一時的な記憶の処理がされるんです。

943 主要な階級の人物の顔や自身の人間関係は1年くらい思い出せないはずですよ。

944 ですので、私の事を覚えてないのも仕方ないですね…

945 集合場所はこっちですから、私に案内させて下さい。

946

947 ・(右10センチ)

948

949 …先輩、事情が変わりました。

950 上層部の動きが以前より焦っているみたいで。

951 これから先輩が何をさせられるかも全然わかりません…

952 とにかく、記憶が戻るまでは変なことはせずに大人しくしてて下さい。

953 オルファンは人間嫌いのバカなので関わらなきゃ大丈夫だと思います…

- 954 あ、着きましたよ先輩、この部屋です。
- 955 はい、私はここでさようならです…
- 956 先輩の無事を祈っていますから…どうかお元気で…
- 957
- 958 …(正面10センチ)
- 959 ・(独り言)
- 960
- 961 ふう…私にできる事はここまでかな…
- 962 一応先輩には盗聴器を仕込んだので一方的に情報共有はできるけど…
- 963 正直心配です…
- 964 でも記憶が雑でもちゃんと先輩なんですよね、
- 965 自分の事ケモミミフエチとか言ってたし…
- 966 はぁ…信じていますからね…先輩。
- 967 //前作 「ケモミミ戦記 天」はソリスの盗聴データ
- 968
- 969 ボーナストラック…閉幕の裏側
- 970
- 971 …(正面10センチ)

- 972 (主人公の浮気する現場を聞き続けてキレてる。)
- 973 // (前作を聞いた後に聞くことを推奨するトラックです。)
- 974 内容として、ソリスとの関係を覚えていないため、
- 975 オルファンと結婚しちゃいました。)
- 976
- 977 えっ、これ現実？
- 978 え、えぬていーあー N T R ってやつじゃないですか！
- 979 サブタイトルに純愛って書いてあるのに？！
- 980 さ、詐欺だ…
- 981 どうして先輩と大っ嫌いな奴が恋に落ちていく模様を
- 982 聞き届けなきゃいけないんですか！？
- 983 好き勝手にえっちしやがって…任務中だろ…
- 984 なーにが「ありがとう…大好き♡」ですか雌丸出しではしたない！
- 985 しかももしかも私より絶対好きって沢山言っつて貰ってた…
- 986 ゆ、許せない…必ずや先輩を取り返して、この雪辱を晴らしてやりますよ…
- 987
- 988

ケモミニ戦記 翔 完